



輪島道路の現場を見学する金沢市立工業高生徒＝輪島市内

金市工生徒が輪島道路を見学

石川県建設業協会

建設業の魅力に触れる

石川県建設業協会による金沢市立工業高校の生徒を対象とした現場見学会は10日、工事が進む輪島市三井町洲衛の能越自動車道輪島道路で行われ、1年生40人が最新技術を駆使した建設業の魅力に触れた。

現場見学会は、人手不足に直面する建設産業へ

の若年労働者の入職促進や育成を目的に開催。事業主体の北陸地方整備局金沢河川国道事務所の監督職員が事業概要を説明し、施工を担当する建設の担当者がICT（情報通信技術）土工やVR（仮想現実）による安全対策事例などを紹介した。若手技術者が体験談を披

露した。生徒はその後、ゴーグル型のVR端末をかけた、完成した高架橋の上を歩く疑似体験や、ICT建設機械体験を行い、最先端の建設業の仕事に興味を示していた。同日、同校生徒は金沢外環状道路海側幹線の建設現場も見学した。